

足利市の歴史

1921年(大正10年)

- 1月
 - ・市制を施行。足利公園で市制施行祝賀会を行った。
- 3月
 - ・足利学校跡が国の史跡に指定された。
 - ・12日から3日間、第1回市議会議員の選挙を行った。
 - ・市議会が成立した。
- 4月
 - ・第4回市議会で市長候補者を選任した。
 - ・県立足利中学校(現足利高校)が開校した。
- 5月
 - ・史跡『足利学校』の管理者に足利市が指定された。
- 7月
 - ・職業紹介法の施行に伴い、従来民間で取り扱っていた紹介事務を市が扱うことになった。
- 10月
 - ・青年団連合会が成立した。
 - ・市教育会が結成された。
- 11月
 - ・足利市儀礼改善会を組織した。これは冠婚葬祭の儀礼を改善して冗費を節約し、その分を市公共事業に寄付されるように呼びかけたもの。
- 12月
 - ・市庁舎が落成した。

1922年(大正11年)

- 1月
 - ・大字名を廃止するとともに、小字名を改称した。
- 2月
 - ・都市計画調査委員会を設置した。
- 3月
 - ・旧『足利氏宅跡』が国の史跡に指定された。
 - ・初の市営住宅を本城、西宮町に5棟ずつ建設した。
- 4月
 - ・市庁舎落成祝賀式を実施した。
 - ・市職業紹介所設立について、県の認可があった。
- 8月
 - ・市制施行誌を発行した。
- 9月
 - ・足利市報第1号を発行した。
- 10月
 - ・市少年団を結成した。
- 11月

- ・史跡『足利氏宅跡』の管理者に足利市が指定された。
- ・市農会主催による産業共進会が開かれた。

1923年(大正12年)

- 3月
 - ・市小学校教育基金造成会事業を開始した。
- 4月
 - ・足利商業連合会が設立された。
- 5月
 - ・足利公園改良計画を本多静六博士に委嘱した。
- 9月
 - ◆関東大震災が起こった。
 - ・県議会議員の選挙が行われた。

1924年(大正13年)

- 4月
 - ・相生小が開校した。
 - ・西宮町に県立繊維工業試験場が設置された。
- 5月
 - ・水道実地調査のため米元技師を招へいし、嘱託とした。
- 6月
 - ・『足利市史』の資料収集を機会に、大規模な資料展示会を開いた。
- 7月
 - ◆メートル法が実施された。
- 9月
 - ・足利市出身の司法大臣、横田千之助氏の就任祝賀会を開いた。
 - ・足利郵便局が2等局に昇格した。

1925年(大正14年)

- 1月
 - 京都、大阪、名古屋への長距離電話が開通した。
 - ・袋川水門が完成した。
- 3月
 - ・第2回市議会議員の選挙(級別)が行われた。
 - ・足利実践女学校(のちの足利短期大学附属高校)が開校した。
- 8月
 - ・足利市上水道敷設案を発表、予算を示し実現に第一歩をしるした。
 - ・足利市役所で県下初の小作調停裁判が実施された。



▲大正10年・市制施行時の記念写真。

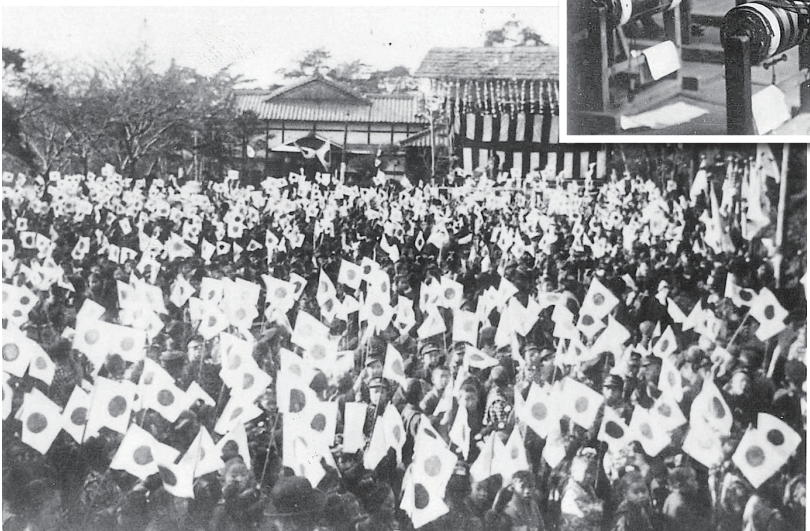
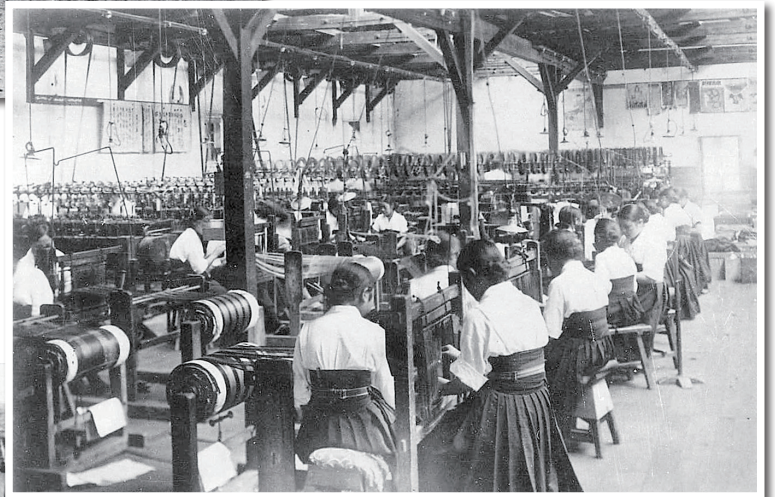


▲大正12年・御厨町役場新築記念時の福居足利通り。



◀大正12年の関東大震災による被災地・東京方面へ、食糧物資の運搬などによる救援活動が行われた。

▶大正13年ごろの織物工場。



◀市制施行祝賀に参加した学生の旗行列。

10月

- ・第1次耕地整理事業(有楽町)が終了した。

11月

- ・市立伝染病院が落成した。

12月

- ・足利内地織物業者が2カ月の休機を決議した。

1926年(大正15年、昭和元年)

2月

- ・渡良瀬川上流改修運動が始まった。

7月

- ・各小学校に青年訓練所を設置した。

9月

- ・足利市消防組常備部を設置した。

10月

- ・工業試験場の内部設備の充実を記念し、同場内で『栃木県蚕糸織物共進会』が開かれ、21日の褒賞授与式には閑院宮載仁親王殿下と藤沢商工大臣が来足した。

12月

- ・田崎草雲の旧屋『白石山房』が蓮袋館から市に寄付された。

◆大正天皇崩御、年号が大正から昭和に変わる。

1927年(昭和2年)

3月

- ・都市計画法第2条による指定を受けた。

6月

- ・助戸小の新築落成式が挙行された。

10月

- ・東武鉄道が全線電化し、初めて足利市に電車が来た。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として大貫助役が渡満した。

◆この年、足利の模様銘仙がデビューした。

1928年(昭和3年)

3月

- ・相生小が新築落成した。
- ・市街地建築物法が足利市に適用された。

4月

- ・上水道敷設案を市議会で承認した。

9月

- ・足利市社会事業協会が発足した。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として丸山収入役が

渡満した。

- ・足利市連合女子青年団が発足した。

12月

- ・『足利市史』を発刊した。

1929年(昭和4年)

2月

- ・柳原小の大講堂が落成した。

3月

- ・第3回市議会議員選挙が行われた。

5月

- ・上水道起工式を水源地で開いた。
- ・火災報知機の使用を開始した。

6月

- ・足利市および三重村、山辺村ならびに毛野村のうち岩井、勤農、北猿田、山川、常見の地域が都市計画区域の指定を受けた。
- ・水道配水池の工事に着手した。

7月

- ・足利小唄(作詞・永井白眉、作曲・中山晋平)を藤間久枝さんが振り付けして発表会を開いた。

9月

- ・市会、知事に渡良瀬橋の架替拡張意見書を提出した。

10月

◆世界恐慌が始まった。

1930年(昭和5年)

1月

- ・東武鉄道株式会社が市に中橋の架橋をすすめた。

6月

- ・足利市の街灯が不景気のため廃止された。

9月

- ・第1回足利競馬を開催した。

10月

- ・北部(東西砂原後町)の耕地整理事業が完了した。

11月

- ・中橋通りの拡張に着手した。

1931年(昭和6年)

4月

- ・上水道の給水を開始した。(普及率43.8%)

5月

- ・市制施行10周年記念式を挙行政した。